

令和6年度第4回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議（要旨）

- 1 日 時 令和7年2月7日（金） 15:00～16:40
- 2 場 所 さぬき市役所本庁 附属棟 多目的室
- 3 出席者 **【委員】** 米田委員 小泉委員 長山委員 久保委員 長谷委員
藤原委員（オンライン）
【事務局】 向井審議監 間嶋総務部長 多田政策課長 蓮井副主幹
橋本主査 株式会社ぎょうせい 家久氏 木下氏 倉内氏
- 4 傍聴者 2名
- 5 会議次第
 - 1 開会
 - 2 座長挨拶
 - 3 議事
 - (1) さぬき市人口ビジョン（案）の変更点について
 - (2) 第3期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
 - 4 事務連絡
 - 5 閉会
- 6 配布資料 **【資料1】** さぬき市人口ビジョン（案）（令和7年3月改訂）
【資料2】 第3期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
【資料3】 第3期総合戦略基本目標KGI
【資料4】 第3期総合戦略における具体的な施策及びKPI一覧
【資料5】 パブリックコメント実施結果報告書
参考資料1：**【各課回答】** さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議における意見について（R6.12.2開催分）
参考資料2：**【各課回答】** 地方創生に関する特別委員会における指摘・提案・検討事項等について（R6.12.17開催分）
- 7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞（15:00）
政策課長	本日はご多忙の中、さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議にご出席いただきありがとうございます。 それでは開会にあたりまして、座長より、ご挨拶をいただき、そのまま議事に進んでいただけたらと思います。
座長	＜座長挨拶＞

	<p>それでは、議題に入ります。議題1「さぬき市人口ビジョン（案）の変更点について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
座長	<p>質問やご意見はありませんか。</p>
委員	<p>特にありません。</p>
座長	<p>議題2の後でも構いませんので、ご意見があればお願いします。 次に、議題2「第3期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
座長	<p>質問やご意見はありませんか。 パブリックコメントの2番目のご意見では、人口ビジョンや総合戦略における人口の将来展望について、大幅な下方修正を繰り返している旨のご意見をいただいている。とても厳しいご意見に感じるが、仕組み上、どうしようもないようにも思える。人口ビジョンを作成するにあたって参考とする、国立社会保障・人口問題研究所のデータでは、全国の出生率推計の高位・中位・低位推移が公表されているが、そちらがそもそも甘い推計のように感じる。全国的に中位推計でさえ維持できている自治体はほとんどなく、低位推計に近くなっているだろうと思う。 については、本市の人口ビジョン改訂案については努力目標であり、それ自体に意味があるのかと言われると、行政側は答えづらい部分がある。 ただ、市民の方の気持ちも理解できる。例えば、第2期総合戦略において、年間出生数の令和6年度目標値は250人であるが、令和5年度実績では158人であった。このようなことを問題視しているのではないか。</p>
事務局	<p>第3期総合戦略では、令和11年度の目標値を173名としている。 なお、令和6年の年間出生数の実績値は、119名であった。</p>
座長	<p>このような目標値との乖離に対して、市は何をやっているのかと言いたくなる気持ちも理解できる。ただ、令和11年度の目標値については、いい加減な数値ではない。どの自治体も中位推計を活用しており、将来の目指すべき人口に向けて、合計特殊出</p>

<p>座長</p>	<p>生率を計算し、そこから、これくらいの出生数を目標として頑張っていこうと理論展開している。さぬき市だけ特別なわけではない。</p> <p>パブリックコメントの2番目の中にある、「内容を簡素化することも必要ではないか」というご意見について、人口が回復しなければ、総合戦略自体に意味がないという意味合いに聞こえる。おっしゃることは分かるが、できることを精いっぱい、皆で頑張っていくしかないと思う。出生数についても、令和6年の実績値が底であってほしいと願う。</p> <p>総合戦略の8ページ目に関して、2040年のデータを使わせてもらうが、2040年になると、団塊ジュニアの方々が年金をもらうようになっている。労働力人口が減少し、日本の企業は大変な状態に陥ると思う。特に地方の企業は深刻だろう。そこで外国人労働者の受入れの話につながっていくと思うが、8ページのグラフでは、原則的に外国人労働者の話は吟味されていないのだろう。</p> <p>また、2040年における0歳から14歳までの年少人口について、2025年から15年間の出生数の合計になると思うが、令和6年の出生数が119人であったので、15倍してもグラフの数値には届かないことが分かる。ご意見は、市に対して楽観的な枠組みはやめようのご指摘いただいているようにも読み取れるが、目標は高く掲げて、それに向かって努力していきたい。検証はこまめにしたほうが良いし、新たな国立社会保障・人口問題研究所の推計が出た場合は、人口ビジョンから見直すべきである。</p> <p>他にご意見は、あるだろうか。</p>
<p>委員</p>	<p>企業側の観点で、地元の高校へ就職のお願いに行くことがあるが、生徒が興味を示しても、親が拒否するということが現実に起きている。親としては、子どもを大手の有名企業に就職させたいという気持ちが強くなっているように感じる。ところが、さぬき市は中小企業がほとんどであり、大手企業が少ない。既存の企業を競争させることも良いが、新たな企業を誘致することも絶対的に必要だと思う。</p> <p>市が保有している土地は少ないと総合戦略に書かれてあるが、民間が持っている土地もある。大きな土地を売っても良いという企業もあるはず。民間側も企業誘致に力を入れた方が良くと思う。企業が来れば人が流れてくる。市外から人が来れば人口が自ずと増えてくる。行政は、なかなか動けていない。これからもさぬき市に住み続けるのであれば、地元の子どもたちのために皆で動いていくのが良いと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>現在は、大卒も高卒も売り手市場である。昔なら喜んで就職していた企業も、現在は勧められても断るといったことが起きている。18歳以上の人口が激減することは明</p>

委員	<p>白なので、今から人手を確保しないと後々首を絞めることとなる。働く場所は、最後の最後まで重要である。</p> <p>農業を営んでいるが、現在、20歳から30歳代の独立希望の人たちが研修に来ている。15年ほど前までは、なるべく大きな企業に就職したい人が多く、それがベースであった。現在は、企業に就職すれば安泰という今までのベースは無くなっており、起業したいという若者が多くなっていると感じる。「自分が食べていくために」、「ライフスタイルを考え直した結果」、などお金を稼いで生きていくという考えでない人が増えてきている印象を持っている。</p> <p>その点、さぬき市で言えば、ゆったりと農業ができるので、若者を定住させるには、農業が一番良いと考えている。</p>
座長	<p>不利な要因だと考えられているものが、必ずしも時代の変化によって不利ではなくなるといったことは得てしてある。</p> <p>香川県は、気候柄、農産物はほとんど何でもできると聞いている。農地もたくさん余っている。そういう人たちに向けて定住を勧めても良いかもしれない。</p> <p>他にご意見等はあるか。</p>
委員	<p>東京からさぬき市に移住してきた庭師さんの話を聞く会を開催した。その方がさぬき市を選んだ理由が面白かったので紹介する。その方は、まず香川県が気に入り、県内を色々と回ったとのこと。はじめ西讃の不動産会社に、香川県の中で、どこが良いですかと質問したところ、西の人は人間的に性格がきつい人が多い、東の人は、性格がおおらかな人が多いという紹介を受けたらしい。そしてさぬき市に来て、自然環境が非常に自分には合っていて、移住を決めたとのことだった。そのような地域性も関係してくるのだと思う。</p> <p>先ほど議論されていたが、デメリットがメリットに代わるフェーズがあると思う。そして、定住人口を確保するために、仕事が大事だとすると、その仕事の中でもゾーンがいくつか分かれていると思う。語弊があると申し訳ないが、高学歴の人が選ぶ、高収入が得られる仕事と、自分のライフスタイルに合った仕事などがある。ついては、前者の企業誘致と、後者のゆとりの時間を持ちながら働ける職種の醸成とどちらもバランスよく進めていく必要がある。そういう意味では、例えばさぬき市に大手企業が少ないという、デメリットとしてとらえていることについて、農業や水産業等を推進するなどして強みに変えていくのは、非常に面白いと考える。</p> <p>また、一月にオープンファクトリーの取組の一環で、全国から参加者を募り、企業のモノづくり現場を見て回るツアーを実施した。参加者は、観光目的の人と仕事を探す</p>

	<p>目的の人と二通りであった。その中で、高校生の方が県内で仕事を見つけられたらという理由で参加していたが、イベント中、企業側はほとんどその高校生を意識して対応する時間となってしまった。つまり、その高校生が最優先で話が進んでしまった。ただ、売り手市場という言い方もあるが、若い方が来てくれることで、受け入れる事業者や職人さんなどが奮起して、表情が明るくなったことも事実である。さぬき市でもやってみても良い取組だと思う。</p>
委員	<p>高校生や中学生を対象とした、将来の仕事を考えるイベントを考えても良いかもしれない。</p>
委員	<p>受入側のテンションが上がるフェーズをつくることも大事だと思う。</p>
委員	<p>先ほど、大手企業がさぬき市にないという話があったが、香川県内は、99%中小企業である。大手企業に就職を目指すとなると、旧事業体くらいしか大手がない。そこにあぶれた場合は、県外に就職するしかない。なので、中小企業経営者団体は、若手確保の取組をすでに始めている。志度高校などの高校生に対して、出前授業をしたり、生徒に来てもらったりしている。就職の選択肢というよりも、一回、県外に出ても良いから、また帰ってきてほしいという気持ちで、生徒に伝えている。その活動に行政も関わって支援していただきたい。</p>
座長	<p>親の意向と生徒本人の意向に相違があると感じている。50歳代の親としては、自身が就職で苦労した事実があり、今の生徒は昔と比べて就職しやすくなっている状況なので、違いが生まれてしまうのだろう。</p> <p>最近では、親のための就職相談会がある。親御さんから説得していくという方法もあるようだ。</p>
委員	<p>東京では、親御さん向けの説明会は、一般的に開催されている。</p>
座長	<p>高校の進路指導の先生でも、親に反対されたら、何も言えないので複雑だ。この点に関しては、行政側が出来ることは、それほどないと感じる。</p>
委員	<p>民間というのか、地域で活発に活躍されている方がいる。そういったプレイヤーの方に光が当たるように行政側が支援できれば、その方が呼び水となる。そして、後続するようになる。民間の役割と行政の役割の中で、しっかりと連携できれば良いと思う。</p>

座長	他に何かご意見はあるか。
委員	この会議で、市役所を訪れる中で、さぬき市の良い所を見つけた。それは、本庁舎からの景色が良いことだ。知っている人からすれば、それほど思うかもしれないが、もっと多くの人に見てもらえたら良いと思う。
座長	特に3階の会議室からの景色は絶景である。ある程度の高さから海を間近で見れることは、他ではあまりない。海に近いからか、オーシャンビューになっている。
委員	さぬき市のビュースポットとして、この場所を宣伝しても良いと思う。瀬戸内海沿いの市町は海が見えるが、場所によって海や島影が異なる。同じ海でも誇らしさ、見え方は違ってくると思う。
委員	ブライダルをしても良いくらいである。もったいないなとも思う。
座長	瀬戸内海を借り物の背景にする、テアトロンのことを気に入るアーティストがいるというのは、納得である。離島から見える美しさもあるが、湾に人の気配があるのが瀬戸内海の特徴だと思う。他愛のないことであるが、観光というのは、そういうことの積み重ねであると思う。 最初の話に戻るが、令和6年の年間出生数119人が少しでも改善できるように今ある観光資源や人的資源などを最大限役立ててもらえたらと思う。 最後に事務局から事務連絡はあるか。
事務局	<事務連絡>
座長	以上で、本日の会議を終了します。 ありがとうございました。
< 閉 会 > (16 : 40)	